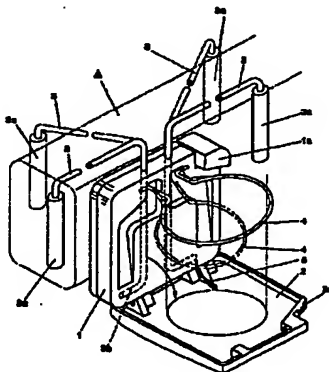


===== WPI =====

- TI - Attachable container e.g. cup holder installed on arm rest of motor vehicle seat - has retaining ring, formed at front surface of holder body, which secures peripheral surface of container e.g. cup
- AB - J10119620 The holder has a body (1) which supports arm sections (3) that attach the body to a vehicle seat arm rest (A). A retaining ring (4), which secures the peripheral surface of a container e.g. cup, is formed at the front surface of the body.
- A cover (2), which selectively covers the retaining ring when not use, is pivotally provided in front of the body.
  - ADVANTAGE - Simplifies mounting of holder on arm rest of vehicle seat.
  - (Dwg.1/8)
- PN - JP10119620 A 19980512 DW199829 B60N3/00 005pp
- PR - JP19960293236 19961014
- PA - (YACY-N) YAC KK
- DC - Q14
- IC - B60N3/00
- AN - 1998-327529 [29]

===== PAJ =====

- TI - DRINK HOLDER AND SIMPLE TABLE
- AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To make a drink holder and a simple table suitable to be used in a vehicle, having an arm rest in a seat for one box car, by providing a lid body and an arm part on a main body, making the arm part capable of nipping a body to be fitted such as an arm rest with the back part of the main body between and providing a holding ring, for holding a drink vessel, on the main body or the lid body.
- SOLUTION: A lid body 2 and two arm parts 3 are provided on the main body 1 of a drink holder to nip the arm rest A of a seat, as a body to be fitted, between the arm part 3 and the main body 1. A soft resin pipe 3a is fitted to a portion beyond the folded place of the arm part so as to give no damage to the surface of the arm rest A at that time. When the resin pipe 3a is mounted, two arm parts 3 are bent in a direction opposite to the lid body 2 to make the back part of the main body 1 abut on the outer side of the arm rest A. In using, pushing a stopper 1a parts it from a locking part 2a provided on the lid 2 to unlock locking to open the lid body 2 by a spring 5, thereby making the lid body 2 a mount onto which a drink is placed, and a holding ring 4 extendable.
- PN - JP10119620 A 19980512
- PD - 1998-05-12
- ABD - 19980831
- ABV - 199810
- AP - JP19960293236 19961014
- PA - YATSUKU KK
- IN - KOBAYASHI HIDEAKI
- I - B60N3/00



<First Page Image>

1/5/1

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI

(c) 2001 DERWENT INFO LTD. All rts. reserv.

011910619 \*\*Image available\*\*

WPI Acc No: 1998-327529/199829

XRPX Acc No: N98-256340

Attachable container e.g. cup holder installed on arm rest of motor vehicle seat - has retaining ring, formed at front surface of holder body, which secures peripheral surface of container e.g. cup

Patent Assignee: YAC KK (YACY-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10119620	A	19980512	JP 96293236	A	19961014	199829 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96293236 A 19961014

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10119620	A		5 B60N-003/00	

Abstract (Basic): JP 10119620 A

The holder has a body (1) which supports arm sections (3) that attach the body to a vehicle seat arm rest (A). A retaining ring (4), which secures the peripheral surface of a container e.g. cup, is formed at the front surface of the body.

A cover (2), which selectively covers the retaining ring when not use, is pivotally provided in front of the body.

ADVANTAGE - Simplifies mounting of holder on arm rest of vehicle seat.

Dwg.1/8

Title Terms: ATTACH; CONTAINER; CUP; HOLD; INSTALLATION; ARM; REST; MOTOR; VEHICLE; SEAT; RETAIN; RING; FORMING; FRONT; SURFACE; HOLD; BODY; SECURE; PERIPHERAL; SURFACE; CONTAINER; CUP

Derwent Class: Q14

International Patent Class (Main): B60N-003/00

File Segment: EngPI

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-119620

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月12日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

B 6 0 N 3/00

識別記号

F I

B 6 0 N 3/00

B

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平8-283238

(22) 出願日

平成 8 年(1996)10月14日

(71) 出願人 000114709

ヤック株式会社

愛知県岡崎市日名西町 3 番地

(72) 発明者 小林 秀▲あき▼

愛知県岡崎市日名西町 3 番地 ヤック株式

会社内

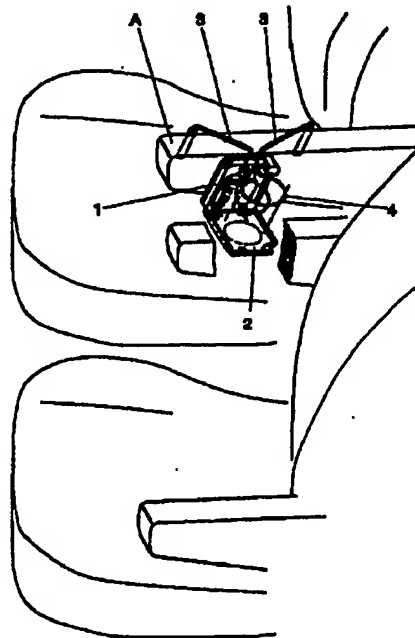
(74) 代理人 弁理士 森 義明

(54) 【発明の名称】 ドリンクホルダー及び簡易テーブル

(57) 【要約】

【課題】 ワンボックスカー等のアームレスト付きシートを有する自動車に容易に装着して使用できるドリンクホルダーと簡易テーブルを提供する

【解決手段】 本体(1)と、本体(1)に開閉可能に取り付けられた蓋体(2)と、本体(1)に取り付けられ本体(1)の背部との間でアームレスト等の被取付体(A)を挟持可能な腕部(3)と、本体(1)または蓋体(2)に取り付けられドリンク容器を保持するための保持リング(4)を有している。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 本体と、本体の前面に開閉可能に取り付けられた蓋体と、本体に取り付けられ本体の背部との間で被取付体を挾持可能な腕部と、本体または蓋体に取り付けられドリンク容器を保持するための保持リングを有していることを特徴とするドリンクホルダー。

【請求項2】 本体と、本体の前面に開閉可能に取り付けられた蓋体と、本体または蓋体に取り付けられドリンク容器を保持するための保持リングを有しており、本体からは本体の背部との間で被取付体を挾持可能な2本の屈曲した腕部が突出していることを特徴とするドリンクホルダー。

【請求項3】 保持リングを本体と蓋体のいずれにも付け替えられるように、本体及び蓋体に保持リング取付部を有していることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のドリンクホルダー。

【請求項4】 本体と、本体の前面に開閉可能に取り付けられた蓋体と、本体に取り付けられ本体の背部との間で被取付体を挾持可能な腕部を有していることを特徴とする簡易テーブル。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車内で缶やカップ入り飲料を保持するためのドリンクホルダーと、同じく車内で菓子や軽食などを置くための簡易テーブルに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】自動車内で缶ジュースやカップベンダーのコーヒーを飲む場合、常にこれら缶などの容器を手で持つのは不便であるので、従来より各種のドリンクホルダーが考案され、商品化されている。

【0003】これらのドリンクホルダーはドアの窓の溝に差し込んで掛けておくものや、エアコン吹出口のルーバーに取り付けるものがほとんどである。

【0004】また、車内でビスケット、ポテトチップ等の菓子やサンドイッチ、おにぎり等の軽食を食べる際に用いる簡易テーブルも商品化されているが、これらは前席のヘッドレストに取り付けるものが多い。

【0005】ルーバーに取り付けるタイプのドリンクホルダーは、吹き出し口のある運転席や助手席には取付可能であるが、後席には取り付けることができない。また、窓の溝に取り付けるタイプのドリンクホルダーは、溝幅が狭いと取り付けられない。

【0006】ヘッドレストに取り付けるタイプのテーブルはヘッドレスト自体の形状や取付手法が様々であるため、種類によっては取り付けが困難なものがある。また、装着可能な場合でも、ネジなどの調整部材で取付部の幅を調整する必要があり取付が面倒である。更に前席との間隔が広い場合にはテーブルが手元から遠くなり使いにくい。

【0007】ところで、近年ではワンボックスカーと称される6人以上が乗車可能な大型の自家用車が急激に普及しているが、これらのシートにはアームレストが備えられていることが多い。これは一旦車外に出ることなく前後の座席間を移動可能とするために左右の座席間に人が通れるウォークスルー等と呼ばれる通路が設けられ、左右の座席が（ベンチシートではなく）独立しているためである。また、RVのリアシートにもアームレストが備えられているものがあり、高級な普通自動車のリアシートには収納式のアームレストを備えているものがある。

## 【0008】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明はワンボックスカー用に座席にアームレストを持つ車等での使用に適したドリンクホルダーや簡易テーブルを提供することを課題とする。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】本発明のドリンクホルダーは、本体(1)と、本体(1)に開閉可能に取り付けられた蓋体(2)と、本体(1)に取り付けられ本体(1)の背部との間でアームレスト等の被取付体(A)を挾持可能な腕部(3)と、本体(1)または蓋体(2)に取り付けられドリンク容器を保持するための保持リング(4)を有していることを特徴とする。

【0010】又は、本体(1)と、本体(1)に開閉可能に取り付けられた蓋体(2)と、本体(1)または蓋体(2)に取り付けられドリンク容器を保持するための保持リング(4)を有しており、本体(1)からは本体(1)の背部との間で被取付体(A)を挾持可能な2本の屈曲した腕部(3)が突出していることを特徴とする。

【0011】更に上記において保持リング(4)を本体(1)と蓋体(2)のいずれにも付け替えられるように、本体(1)及び蓋体(2)に保持リング取付部を有していることを特徴とする。

【0012】また、本発明の簡易テーブルは、本体と、本体に開閉可能に取り付けられた蓋体と、本体に取り付けられ本体の背部との間でアームレスト等の被取付体(A)を挾持可能な腕部を有していることを特徴とする。

## 【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明を好適な実施例を用いて説明する。

【実施例1】図1は本実施例の車載用ドリンクホルダーを自動車のアームレストに取り付けた状態を示した図であり、図3はその拡大図である。図5は実施例の正面図、図6は右側面図である。

【0014】各図において、(A)は被取付体としての座席のアームレストであり、(1)はドリンクホルダーの本体、(2)はドリンクホルダーの蓋体である。(1a)はドリンクホルダーが閉じた状態（本体(1)と蓋体(2)が合わさった状態）を維持するためのストッパーである。

【0015】(3)は本体(1)から伸びた2本の腕部であり、途中から略直角に本体(1)側に曲がっており、折り曲げ箇所より先の部分には軟質の樹脂パイプ(3a)が取り付けられている。樹脂パイプ(3a)を取り付けているのは後述のように腕部(3)と本体(1)との間でアームレスト(A)を挟持する際にアームレスト(A)表面を傷つけないようにするためである。

【0016】ドリンクホルダーをアームレスト(A)に装着する際には2本の腕部(3)を蓋体(2)と反対の方向に曲げて、本体(1)の背部がアームレスト(A)の外側に当接し、2本の腕部(3)の樹脂パイプ(3a)の部分がアームレスト(A)の内側に当接するようにアームレスト(A)を挟み込む。

【0017】図7は本体(1)の背板を外した状態を示した図(本体(1)内での腕部(3)の配置を説明するための図)である。各腕部(3)は本体(1)内で折曲した部分(3b)を有しており、樹脂パイプ(3a)の部分を本体(1)背部から離れる方向に移動させても本体(1)内の折曲部分(3b)が本体(1)の内側と当接するので腕部(3)は本体内で回転することができず、結果として腕部(3)は揺られることになる。腕部(3)はそれ自体の弾力により元の状態に復元しようとするため、アームレスト(A)は2本の腕部(3)と本体(1)背部との間で強く挟持され、ドリンクホルダーがしっかりと装着される。

【0018】使用する際にはストッパー(1a)を押すと、ストッパー(1a)が蓋体(2)に設けられた係止部(2a)と離れることによりロックが外れる。ロックが外れると本体(1)と蓋体(2)との接合部付近に設けられたバネ(5)により蓋体(2)が約90度開き、ドリンクを置くための台となる。(2b)は蓋体(2)が開いた際に本体(1)と当接する当接部であり、蓋体(2)が90度以上開かないように設けられている。

【0019】蓋体(2)が開くと本体(1)に取り付けられた保持リング(4)が展開可能となる。この保持リング(4)はドリンクの入った缶やカップの上部を保持して、車が揺れた際に缶等が転倒するのを防止するためのものである。保持リング(4)は蓋体(2)と略平行(本体に略垂直)な位置まで展開可能であるが、完全に展開させずに途中で段階的に止まることができるようにしておくと、細い缶を保持する場合に便利である。保持リング(4)はスプリング又は取付部のカット等を利用して蓋体(2)が開くと同時に自動的に展開するような構造としても良いし、単に指をかけて引き起こして展開するような構造としても良い。

【0020】本実施例では2本の腕部(3)を別個の金属棒でそれぞれ構成したが、1本の金属棒を曲げて両方の腕部を構成しても良い。

【0021】図2は本実施例の他の使用状態を示した図であり、図4はその拡大図である。この場合、本体(1)の背部がアームレスト(A)の上面に接し、腕部(3)の樹脂

パイプ(3a)の部分がアームレスト(A)の下面に接するようにアームレスト(A)を挟み込んでいる。

【0022】この使用状態では本体(1)がドリンクを置くための台となる。保持リング(4)は本体(1)から取り外され、蓋体(2)に取り付けられている。すなわち、本実施例では保持リング(4)の取付部が本体(1)にも蓋体(2)にも設けられている。使用時には蓋体(2)から保持リング(4)を展開させてドリンクの缶等を保持する。

【0023】図8は同様に普通自動車のリアシートの収納式アームレストに取り付けた状態を示した図であり、このようにアームレストの横幅が広いときにも取り付けることができる。

【0024】尚、本発明のドリンクホルダーはアームレスト以外の被取付体にも取り付けことができ、例えばキャンプに用いる屋外用テーブル等にも装着することができる。この場合、単にテーブル上にドリンク容器を置いているのではなく、保持リングで保持しているために子供が誤ってドリンク容器を転倒させること等を防止することができる。

【0025】【実施例2】実施例1の本体及び蓋部を大型化し、サンドイッチやハンバーガーや弁当箱等を置くことのできる大きさとした以外は、基本構成は実施例1と同様であり(図示せず)アームレスト等に取り付けて使用することができる。但し、特にドリンク容器を置く必要がないのであれば、容器転倒防止のための保持リングはなくても良い。

【0026】使用方法は実施例1と同様であり、必要ときに展開させることにより実施例1のドリンクに加えて(又はドリンクの代わりに)軽食等を置いて使用することができる。

【0027】

【発明の効果】以上述べたように本発明により、ワンボックスカー等のアームレスト付きシートを有する自動車に容易に装着して使用できるドリンクホルダーと簡易テーブルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の使用状態を示した図。

【図2】実施例の他の使用状態を示した図。

【図3】実施例の使用状態を示した図(図1の拡大図)。

【図4】実施例の使用状態を示した図(図2の拡大図)。

【図5】実施例の正面図。

【図6】実施例の右側面図。

【図7】実施例の本体の背板を外した状態を示した図。

【図8】実施例の他の使用状態を示した図。

【符号の説明】

(A) アームレスト(被取付体)

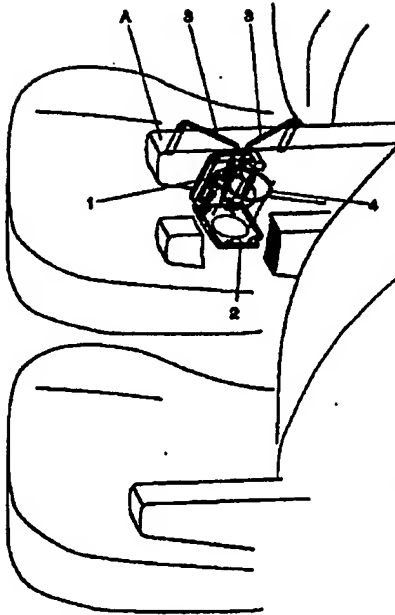
(1) 本体

(2) 蓋体

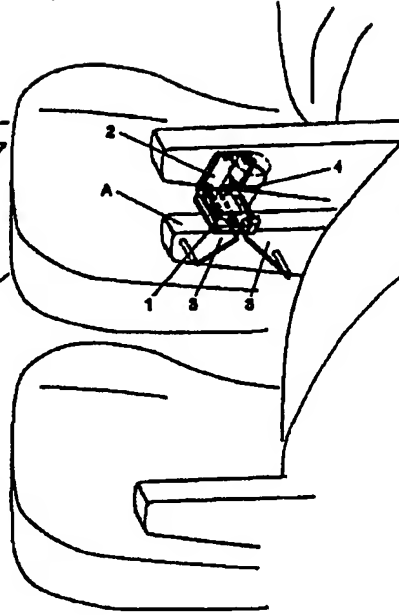
(3) 腕部

(4) 保持リング

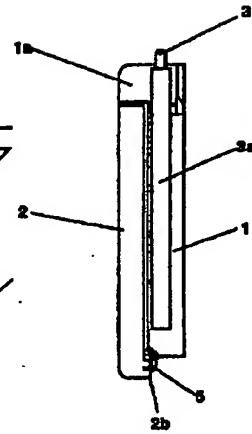
【図1】



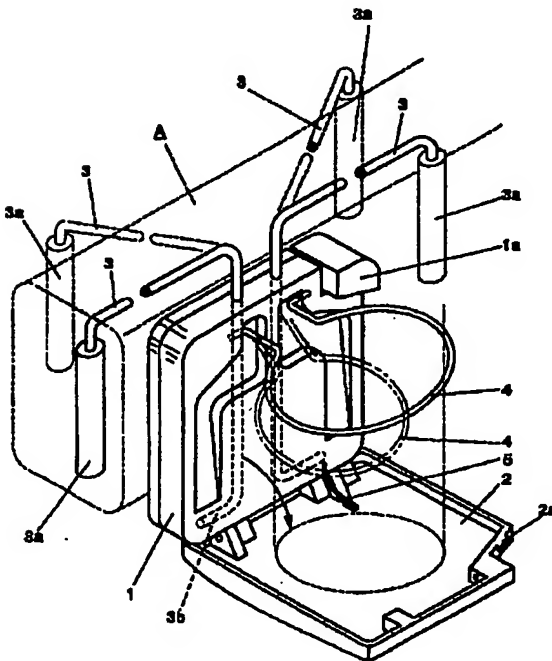
【図2】



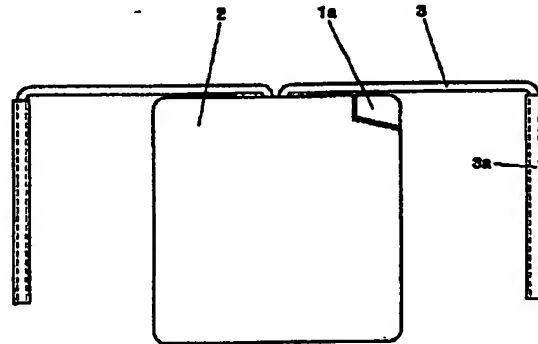
【図6】



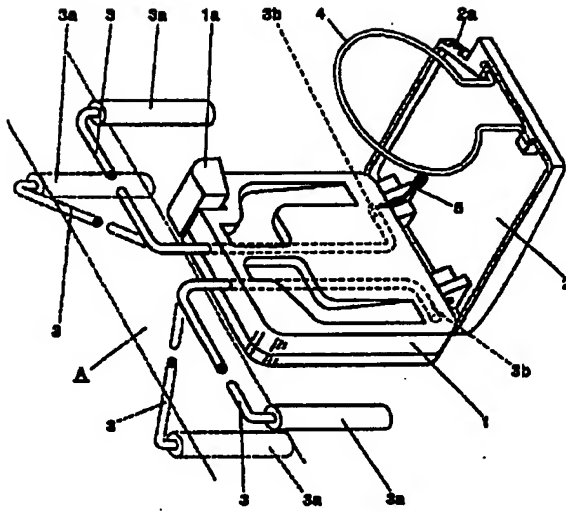
【図3】



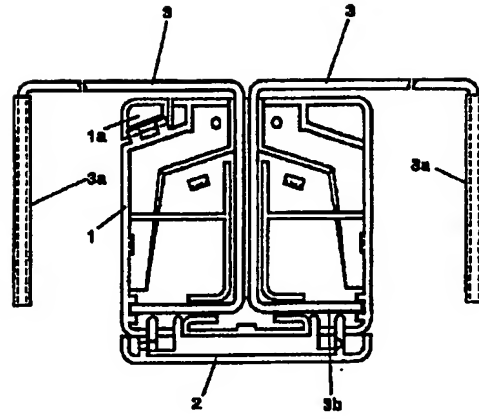
【図5】



【図4】



【図7】



【図8】

